



2023年4月12日

「JR北海道 廃線跡地活用イノベーションプログラム」採択案件について

JR北海道では、2019年3月に鉄道事業を廃止した石勝線（新夕張～夕張間）、2021年3月に鉄道事業を廃止した日高線（鶴川～様似間）の廃線跡地の有効利用について、社外のアイディア・技術を取り入れるため、オープンイノベーションプログラムとして2022年8月～同年11月の期間、協業についての提案を募りました。

今般、社内で選定を行い今後協業したいと考える事業者様とその案件を決定いたしましたのでお知らせします。

（なお、一部の協業事業者様とは、提案内容の具体化を相談中であり、案件概要については控えさせていただきます）

1. 応募数と採択数

応募数：34件（30社）

採択数：6件（6社）

2. 採択案件の概要等

企業名	ご提案内容
茗溪コンサルタンツ(株)	トンネルのワインカーブとしての活用
JAPAN AX PROJECT(株)	ミューラルアート（壁画）を活用した販わいの創出
(株)mmガード	ドローンの機体開発試験場、免許取得に向けた練習場としての活用
forent(株)	キャンプ場、グランピング施設の開発
ENEOS(株)	太陽光発電事業
エネウィル(株)	太陽光発電事業

詳細は別紙をご参照ください。

3. 今後の予定

各事業者様と場所・事業規模・開始時期などの詳細を協議し、事業化に向け準備を進めてまいります。

事業開始の際は改めてお知らせする予定です。

別紙

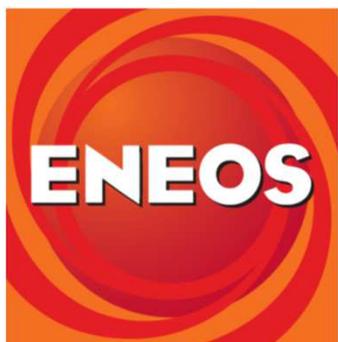
「JR北海道 廃線跡地活用イノベーションプログラム」
採択企業の発表

2023年4月12日



北海道旅客鉄道株式会社
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

JR北海道では「JR北海道 廃線跡地活用イノベーションプログラム」を実施
この度、6社の企業を協業先として採択



JAPAN AX PROJECT



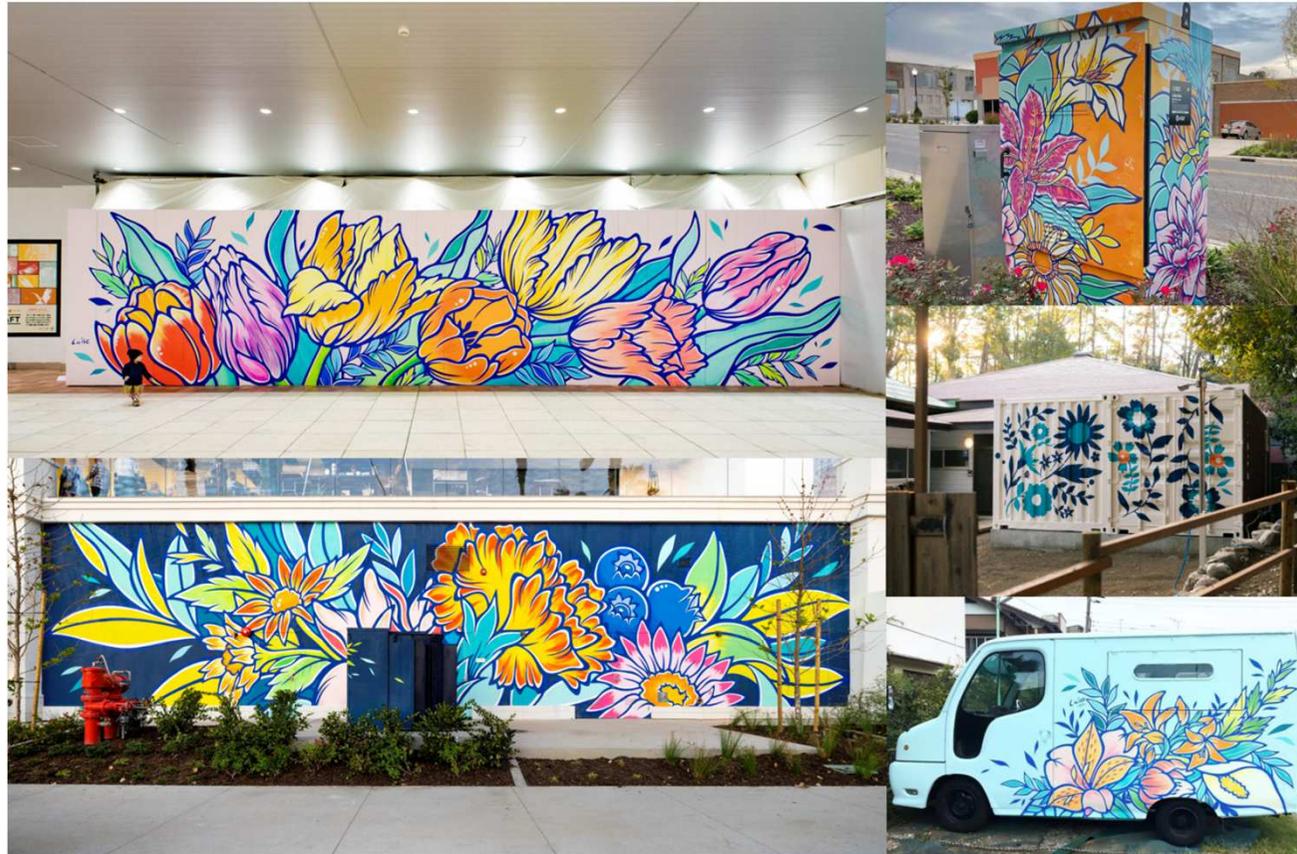
トンネルのワインカーブとしての活用



- ◆ トンネルの持つ環境を利用してワインを中心に熟成させることで、付加価値を増す食品を貯蔵・販売します。
- ◆ ワインは地産品を主軸に、国内取扱の珍しい外国産ワインの取扱いも検討し、エイジングワインの文化の拡散に努めます。
- ◆ 賑わいの場として、地産食材のレストランの設置可能性を検討します。

社名	茗溪コンサルタンツ株式会社
代表者名	代表取締役 東堂 英雄
事業概要	地方協創事業ほか、富の地方への再分配事業の展開、企業コンサルティング業、不動産業
会社HP	https://www.meikei-gr.jp/
提案内容	廃線トンネルを利用したワインカーブの共同企画と賑わいの場の創造の可能性追求・具現化

ミューラルアートを活用した賑わいの創出



- ◆ ミューラルと呼ばれる壁画アートを用いて廃線跡地という“場所”の新しい価値を創出します。
- ◆ ミューラルは「描くところを見れる」「一緒に描ける」「壮大な空間を作れる」という特徴があり、今回の取組みではアートを体感できる原体験を提供します。
- ◆ そして、アート単体ではなく、他の企画や事業とミューラルを掛け合わせることでその効果を最大化できればと考えます。

社名	JAPAN AX PROJECT株式会社
代表者名	代表取締役社長 山田真史
事業概要	ミューラル(壁画)アート事業制作／アート企画コンサル業
会社HP	https://www.axpjt.com/
提案内容	ミューラルアートを活用し、人が集う場所の創出、実施事業の効果をアートを掛け算することで最大化します。

「レベル3」飛行エリアの提供とAIによるロボット線路点検

廃線跡地を活用して
ドローンのカテゴリⅢ飛行ができるフィールドを
「Drone Pass」としてご提供



- ◆ ドローンのカテゴリⅢ飛行(目視外&補助者なし)の長距離飛行ができるフィールドを「Drone Pass」として提供します。
- ◆ また、線路点検用のAIソフトウェア「Drone View」の開発フィールドとして利用します。

社名	株式会社mmガード
代表者名	代表取締役 鈴木 和清
事業概要	インフラ点検向けAI “違いがわかるAI”「Drone View」の開発、販売
会社HP	https://www.droneview.co.jp
提案内容	ドローン物流の実現に向けた「レベル3」飛行エリアの提供とAIによるロボット線路点検の実現

廃線跡地とその景観を利活用したキャンプ場・グランピング施設の開発



- ◆ 廃線跡地とその景観を利活用し、オリジナリティのあるキャンプ場を開発し地域の魅力を発信する拠点を創出いたします。
- ◆ また地域特有の自然・文化・アクティビティ体験をセットで販売することによって、地域の歴史、文化、自然の地域特性の保護と活用を両立させつつ、地域経済の活性化に寄与する新たな体験価値を提供いたします。
- ◆ 旅前から旅アトまでを一貫してシームレスな顧客体験ができる予約・販売システムの構築をいたします。

社名	forent株式会社
代表者名	代表取締役CEO 塚崎 浩平
事業概要	遊休地や遊休不動産をキャンパススペース等のアウトドア宿泊施設として掲載し、土地保有者とキャンパーをマッチングするサービス「EXCAMP」の企画・開発・運営、コンサルティング事業
会社HP	https://excamp.jp/
提案内容	廃線跡地とその景観を利活用したキャンプ場・グランピング施設の開発による新たな体験価値提供